

|         |   |      |
|---------|---|------|
| 科目名     | 立法過程論－立法の理解促進プログラム－   |      |
| 担当者     | 鷹 咲子  |      |
| 配当学期    | 春学期   |      |
| 単位      | 2単位   |      |
| 授業概要    | <p>どのような政策をどのように実現するか</p> <p>実際に立法の現場で働く国会の調査スタッフ・立案スタッフ、政策担当秘書等から、具体的な事例を通して政策課題が法律になるまでの過程について学ぶ。併せて各人が問題と感ずる政策課題（修士論文のテーマ等）に関して、立法等による解決を目指す場合に必要な調査を行い、リサーチ・ペーパー（本文2000字以上）を作成する。</p> <p>本講義は、議員及び行政職員・国会職員・政策担当秘書等の政策スタッフとして、立法・行政に、現在又は将来携わる者、議会に注目するジャーナリスト等のみならず市民・NPOとして政策実現の働きかけを行う者にも参考となる。また、論理的な思考を相手に伝えるように記述して説明する能力は、修士論文等を書くためにも必須である。</p>   |      |
| 授業の到達目標 | 政策を実現する過程において重要な立法府の役割・仕組みを理解し、正確な根拠に基づく論理的な思考による課題解決能力を身につける。  |      |
| 授業計画    | <p>(1)オリエンテーション、立法府の組織と役割</p> <p>(2)国会における法案審査の仕組み<br/>委員会・本会議における法案審査の流れ、議員立法の課題</p> <p>(3)政策担当秘書制度</p> <p>(4)政策と法律：文献・政府資料（法律・審議会情報）・国会情報（国会会議録）の調べ方</p> <p>(5)リサーチ・ペーパーの中間発表（テーマ、参考文献、調査方法）</p> <p>(6)～(14)国会の調査スタッフ・議会法制局の立案スタッフ・政策担当秘書の役割と政策課題への取り組み（ケース・スタディ）、政党の政策決定過程<br/>（ケース・スタディの例）子どもの貧困対策、DV防止法、非正規労働、最低賃金法、自殺対策基本法、男女雇用機会均等法、海洋基本法、医療政策、社会保障政策、財政政策など</p> <p>(15)リサーチ・ペーパーの講評、まとめ</p> |      |
| 教科書     | 特になし。必要な資料は、その都度指示又は配布。   |      |
| 参考文献    | 小池洋次編『BASIC 公共政策学第10巻 政策形成』（ミネルヴァ書房2010）、「議員立法の課題」『論座』2008年2月号85～89頁、読売新聞政治部『法律はこうして生まれた』（中公新書 2003）  |      |
| 成績評価方法  | 割合  | 評価基準 |
|         | 試験<br>0%  |      |

|        |   |  |
|--------|---|--|
|        | レポート<br>30%   | リサーチ・ペーパー（本文 2000 字以上）。                |
|        | 平常点評価<br>60%  | 授業中の発言の積極性、授業への貢献度、<br>リアクション・ペーパーの内容。 |
|        | その他<br>10%  | 欠席は、特に理由がある場合に限る。                      |
| 関連 URL | 日本法令索引 <a href="http://hourei.ndl.go.jp/SearchSys/">http://hourei.ndl.go.jp/SearchSys/</a><br>国会会議録検索システム <a href="http://kaigi.ndl.go.jp/">http://kaigi.ndl.go.jp/</a> |  |
| 備考     | 受講者の問題意識によって、講義内容・課題設定について調整するので、積極的に希望を述べて欲しい。授業の連絡に Course N@vi を使用する。国会見学・委員会傍聴の希望があれば実施したい。   |  |